

分科会 18

アンチスティグマとリカバリー

～地域での活動はスティグマをどう変えてきたか～

風間美代子（NPO 法人多摩草むらの会）
大江祥博（就労支援センターFLaT/大江ん隊隊長）
宇田川健（認定 NPO 法人地域精神保健福祉機構・コンボ）
島本禎子（杉並家族会）
高橋清久（公益財団法人精神・神経科学振興財団）

今年には地域で活動してきた当事者や家族会の方に、活動の報告、そこでの成果、その時の困難、偏見・誤解について報告してもらいました。

家族会からはNPO法人多摩草むらの会の風間美代子さんに、地域でいろいろな施設を作り続けている歴史と苦労とその時に受けた偏見や誤解をどうしていったかについて発表していただきました。

当事者としては、就労支援センターFLaT で働く大江祥博さんに、スティグマについて、いろいろと分析してもらったり、経験を語ってもらいました。

また、杉並家族会の島本禎子さんにも、地元でグループホームを作るときに、地域の偏見にとっても苦労した話をしてもらいました。

その後、会場との意見交換になると、会場からは、家族のとっても苦労している人や当事者として地域で色々苦労している人が話をすると、風間美代子さんが、すごいパワフルにそれに応えるというふうになりました。

また、大江祥博さんも、とても冷静に話を受けとめ、ひとりひとりに丁寧に答えてくれました。

司会は、認定NPO法人コンボの宇田川健と杉並家族会の島本禎子さんという、いつものアンチスティグマとリカバリーのチームで行い、最後に精神・神経科学振興財団の高橋清久さんにまとめてもらいました。

《宇田川健（認定 NPO 法人地域精神保健福祉機構・コンボ）》